

新基地建設反対名護共同センターニュース

参院選で伊波氏を勝利させ、知事選へ勢いを!

参院選ひやかち・うまんちゅの会名護市支部は12日、名護市内で参議院議員イハ洋一街頭演説会を開催、250人の市民が集まりました。イハ氏(写真内)は「辺野古新基地建設は軟弱地盤もあり完成は不可能だ。参院選で私を、9月の知事選でデニー知事を再選させ、今度こそ県民の民意で岸田政権に新基地建設を断念させよう」と訴えました。高良鉄美参院議員や屋良朝博前衆院議員、稲嶺進元名護市長、民主青年同盟の大城結さんがあいさつを行いました。多くのドライバーから手を振ったり、クラクションで激励を受けました。この後、うるま市と沖縄市でも街頭演説会を行いました。



岸田内閣に新基地を断念させるのは民意

「辺野古新基地認めない」デニー知事が出馬表明

玉城デニー知事は11日、那覇市内で2期目をめざして出馬する意向を記者会見で表明しました。赤嶺政賢衆院議員など「オール沖縄」の国会議員、地方議員らが同席しました。

平和は対話による信頼構築で

デニー知事は「普天間基地の1日も早い危険性除去を政府に強く要求し、辺野古新基地は絶対に造らせません」、貴重な自然環境は「一度破壊されたら二度と元には戻せない」と話し、「平和を維持することは対話による信頼構築」が欠かせないと強調。経済政策やSDGs、首里城再建などの取り組みなどで県政を前進させる決意を表明しました。



那覇軍港にオスプレイ着陸



那覇市の米軍那覇軍港に6日以降、普天間基地所属のMV22 オスプレイ期が事前連絡なしに着陸しました。(写真は那覇軍港で7日。「しんぶん赤旗」提供) 玉城デニー知事は「沖縄県民の思いをないがしろにするもので、甚だ遺憾だ」と、米軍と日米両政府に同軍港への航空機の離発着を行わないよう求めました。

一日でダンプ 600 台分の搬出を遅らせた 安和・塩川大行動で大きな成果

辺野古新基地建設の埋め立て用土砂を本部鉦山から海上輸送しているのが本部町の塩川港と名護市の安和棧橋です。この土砂の搬出量を少しでも遅らせようと「安和棧橋、塩川港大行動」が同実行委員会の呼びかけで6日から8日まで3日間取り組みました。時には強い雨が降る中、全県から一日100人前後の県民が両港で赤土を積んだダンプカーの前で牛歩戦術を展開しました。

実行委員会の原田みき子事務局長は「通常より一日当たりダンプカー約600台(運搬船4隻分以上)の搬出を減らすことができた。私たちの一步は小さいがみんなで力を合わせれば辺野古新基地建設に大きく影響を与えることができる」と引き続き県民の参加を訴えました。

(写真=塩川港で8日)

